



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月2日

上場会社名 東洋製罐グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 5901 URL <https://www.tskg-hd.com/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大塚 一男
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 浅田 真一郎 TEL 03-4514-2001
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	229,867	△2.3	13,466	78.8	16,480	39.0	11,321	33.9
2024年3月期第1四半期	235,349	4.3	7,532	△5.3	11,858	△16.3	8,454	△23.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 19,294百万円 (36.2%) 2024年3月期第1四半期 14,165百万円 (△32.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	65.23	—
2024年3月期第1四半期	46.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,189,524	701,379	56.9
2024年3月期	1,180,784	697,683	56.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 676,362百万円 2024年3月期 665,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	45.00	—	46.00	91.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	465,000	△1.5	20,000	34.1	23,000	11.4	16,500	11.3	95.07
通期	920,000	△3.2	33,000	△2.5	37,000	△4.5	27,500	19.1	158.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名)、除外 1社 (社名) Crown Seal Public Co., Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	175,862,162株	2024年3月期	175,862,162株
2025年3月期1Q	2,299,044株	2024年3月期	2,298,879株
2025年3月期1Q	173,563,118株	2024年3月期1Q	181,588,698株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は役員向け株式交付信託制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式(494,600株)を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2024年4月1日から2024年6月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、景気は緩やかな回復基調が継続しました。一方、先行きは、不安定な国際情勢、物価の上昇や為替相場の急激な変動などにより、不透明な状況にあります。

このような環境下におきまして、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。

（単位：百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	増減	増減率
売上高	235,349	229,867	△5,481	△2.3%
営業利益	7,532	13,466	5,933	78.8%
売上高営業利益率	3.2%	5.9%	2.7%	—
経常利益	11,858	16,480	4,622	39.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,454	11,321	2,866	33.9%

売上高は、海外向けの製缶・製蓋機械の販売が減少したことにより、2,298億67百万円（前年同期比2.3%減）となりました。利益面では、海外向けの製缶・製蓋機械の販売が減少したものの、包装容器事業を中心に原材料・エネルギー価格上昇分の転嫁を実施したほか、機能材料関連事業において磁気ディスク用アルミ基板の市況が回復傾向となったことにより、営業利益は134億66百万円（前年同期比78.8%増）となりました。経常利益は、持分法投資利益が減少したものの、営業利益が増加したことにより、164億80百万円（前年同期比39.0%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、113億21百万円（前年同期比33.9%増）となりました。

各セグメントの営業の概況は次のとおりです。

（単位：百万円）

報告セグメント等	売上高（外部顧客）				営業利益			
	前第1四半期	当第1四半期	増減	増減率	前第1四半期	当第1四半期	増減	増減率
包装容器事業	151,081	153,608	2,526	1.7%	4,386	9,614	5,228	119.2%
エンジニアリング・ 充填・物流事業	46,500	34,952	△11,547	△24.8%	1,898	△251	△2,149	—
鋼板関連事業	22,265	22,495	230	1.0%	1,364	2,879	1,515	111.1%
機能材料関連事業	7,953	12,181	4,227	53.2%	△191	1,171	1,362	—
不動産関連事業	1,928	2,010	81	4.2%	1,055	1,148	92	8.8%
その他	5,619	4,619	△1,000	△17.8%	101	76	△25	△24.7%
調整額	—	—	—	—	△1,081	△1,171	△90	—
合計	235,349	229,867	△5,481	△2.3%	7,532	13,466	5,933	78.8%

〔包装容器事業〕

売上高は1,536億8百万円（前年同期比1.7%増）となり、営業利益は96億14百万円（前年同期比119.2%増）となりました。

①金属製品の製造販売※

国内・海外において、原材料・エネルギー価格上昇分の転嫁を実施したほか、国内において、ビール・チューハイ向けの空缶で新製品の受注があったことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。

②プラスチック製品の製造販売※

原材料・エネルギー価格上昇分の転嫁を実施したほか、お茶類向けのペットボトル・キャップや食用油向けのボトルなどが増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

③紙製品の製造販売

青果物向けの段ボール製品が減少しましたが、飲料コップを中心に原材料・エネルギー価格上昇分の転嫁を実施したほか、アイスクリームなどの冷菓向けのカップが増加したことにより、売上高は前年同期並となりました。

④ガラス製品の製造販売

化学薬品向けのびん製品や、飲食店向けでジョッキなどのハウスウエア製品が増加しましたが、セールスプロモーション品で前年同期に大型案件を受注した反動があったほか、清涼飲料やウイスキー向けのびん製品が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

※当連結会計年度より、金属キャップおよびプラスチックキャップの製造販売を行うCrown Seal Public Co., Ltd.を連結子会社から持分法適用関連会社としたこととともない、売上高が減少した影響を含んでおります。

〔エンジニアリング・充填・物流事業〕

売上高は349億52百万円（前年同期比24.8%減）となり、営業損失は2億51百万円（前年同期は18億98百万円の営業利益）となりました。

①エンジニアリング事業

欧米の金利上昇を背景としたお得意先における設備投資の見送りにより、海外向けの製缶・製蓋機械の販売が減少し、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

②充填事業

海外において、飲料の充填品が増加したことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。

③物流事業

貨物自動車運送業および倉庫業などの売上高は、前年同期を上回りました。

〔鋼板関連事業〕

売上高は224億95百万円（前年同期比1.0%増）となり、営業利益は28億79百万円（前年同期比111.1%増）となりました。

電気・電子部品向けでは、車載用二次電池材の輸出が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

缶用材料の売上高は、前年同期を上回りました。

自動車・産業機械部品向けでは、駆動系部品材などが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

建築・家電向けでは、冷蔵庫向け扉材などが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

〔機能材料関連事業〕

売上高は121億81百万円（前年同期比53.2%増）となり、営業利益は11億71百万円（前年同期は1億91百万円の営業損失）となりました。

磁気ディスク用アルミ基板では、データセンター向けのハードディスク用途で市況が回復傾向となったことにより、売上高は前年同期を上回りました。

光学用機能フィルムでは、フラットパネルディスプレイの市況が回復傾向となったことにより、売上高は前年同期を上回りました。

その他、ほうろう製品向けの釉薬が増加しました。

〔不動産関連事業〕

オフィスビルおよび商業施設等の賃貸につきましては、売上高は20億10百万円（前年同期比4.2%増）となり、営業利益は11億48百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

〔その他〕

自動車用プレス金型・機械器具・硬質合金および農業用資材製品などの製造販売、石油製品などの販売および損害保険代理業などにつきましては、売上高は46億19百万円（前年同期比17.8%減）となり、営業利益は76百万円（前年同期比24.7%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における連結子会社の減少は、次のとおりです。

・減少（1社）

Crown Seal Public Co., Ltd.

※2024年4月1日付で当社の連結子会社から持分法適用関連会社となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産、負債および純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1兆1,895億24百万円となりました。売上債権や棚卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ87億40百万円の増加となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、4,881億45百万円となりました。借入金の増加などにより前連結会計年度末に比べ50億44百万円の増加となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、7,013億79百万円となりました。円安影響による為替換算調整勘定の増加などにより前連結会計年度末に比べ36億95百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.4%から56.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日（2024年8月2日）公表いたしました「第2四半期・通期における連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	90,019	83,853
受取手形、売掛金及び契約資産	248,148	249,886
電子記録債権	28,855	33,053
商品及び製品	123,168	124,171
仕掛品	18,413	22,713
原材料及び貯蔵品	48,281	46,915
その他	32,525	39,157
貸倒引当金	△4,000	△4,045
流動資産合計	585,411	595,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	114,828	114,192
機械装置及び運搬具（純額）	141,167	137,090
土地	80,122	78,190
建設仮勘定	19,689	14,536
その他（純額）	14,564	14,779
有形固定資産合計	370,372	358,788
無形固定資産	22,488	22,607
投資その他の資産		
投資有価証券	148,412	159,695
退職給付に係る資産	30,181	30,334
繰延税金資産	8,048	6,069
その他	19,436	20,055
貸倒引当金	△3,566	△3,731
投資その他の資産合計	202,512	212,423
固定資産合計	595,373	593,819
資産合計	1,180,784	1,189,524

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	115,955	117,607
短期借入金	56,248	68,760
未払法人税等	10,527	7,334
汚染負荷量賦課金引当金	95	76
その他	87,747	82,598
流動負債合計	270,573	276,377
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	123,325	122,413
繰延税金負債	14,177	13,740
特別修繕引当金	5,839	6,106
汚染負荷量賦課金引当金	1,648	1,648
役員退職慰労引当金	1,172	1,174
役員株式給付引当金	256	289
退職給付に係る負債	43,501	42,947
その他	12,608	13,448
固定負債合計	212,527	211,767
負債合計	483,101	488,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,094	11,094
資本剰余金	11,969	11,969
利益剰余金	539,864	543,352
自己株式	△5,158	△5,158
株主資本合計	557,769	561,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,803	62,375
繰延ヘッジ損益	△4	489
為替換算調整勘定	33,931	38,228
退職給付に係る調整累計額	14,206	14,010
その他の包括利益累計額合計	107,937	115,104
非支配株主持分	31,976	25,016
純資産合計	697,683	701,379
負債純資産合計	1,180,784	1,189,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	235,349	229,867
売上原価	206,933	194,773
売上総利益	28,415	35,094
販売費及び一般管理費	20,882	21,627
営業利益	7,532	13,466
営業外収益		
受取利息	236	336
受取配当金	883	985
為替差益	3,096	2,816
持分法による投資利益	649	48
その他	1,408	945
営業外収益合計	6,274	5,133
営業外費用		
支払利息	578	973
固定資産除却損	205	129
その他	1,165	1,016
営業外費用合計	1,949	2,118
経常利益	11,858	16,480
税金等調整前四半期純利益	11,858	16,480
法人税等	3,215	4,625
四半期純利益	8,643	11,855
非支配株主に帰属する四半期純利益	188	534
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,454	11,321

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	8,643	11,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,812	2,554
繰延ヘッジ損益	38	494
為替換算調整勘定	670	2,624
退職給付に係る調整額	△176	△107
持分法適用会社に対する持分相当額	177	1,873
その他の包括利益合計	5,522	7,439
四半期包括利益	14,165	19,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,480	18,508
非支配株主に係る四半期包括利益	684	786

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はない。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はない。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用している。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っている。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はない。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用している。従来は当該子会社株式等を売却した企業の個別財務諸表において、当該売却損益に係る一時差異に対して繰延税金資産又は繰延税金負債が計上されているときは、連結財務諸表においても当該繰延税金資産又は繰延税金負債を計上していたが、連結決算手続上、当該一時差異に係る繰延税金資産又は繰延税金負債を取り崩す方法に変更している。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっている。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の繰延税金資産が550百万円増加している。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は550百万円増加している。なお、前年四半期の税金等調整前四半期純利益に与える影響はない。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりである。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	13,522百万円	13,548百万円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 事業	エンジニア リング・ 充填・物流 事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	151,081	46,500	22,265	7,953	1,928	229,729	5,619	235,349	—	235,349
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,345	13,006	6,075	14	359	20,801	1,834	22,635	△22,635	—
計	152,427	59,506	28,340	7,967	2,288	250,530	7,453	257,984	△22,635	235,349
セグメント利益又は損失 (△)	4,386	1,898	1,364	△191	1,055	8,512	101	8,614	△1,081	7,532

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,081百万円には、セグメント間取引消去3,128百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,209百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 事業	エンジニア リング・ 充填・物流 事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	153,608	34,952	22,495	12,181	2,010	225,248	4,619	229,867	—	229,867
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,552	12,261	5,821	15	346	19,995	1,795	21,791	△21,791	—
計	155,161	47,213	28,316	12,196	2,356	245,244	6,414	251,658	△21,791	229,867
セグメント利益又は損失 (△)	9,614	△251	2,879	1,171	1,148	14,561	76	14,638	△1,171	13,466

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,171百万円には、セグメント間取引消去3,012百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,183百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。